

関係人口による 持続可能な地域づくり

いわき市田人地区

×

芝浦工業大学「笑顔のまち なこそプロジェクト」



1. 「笑顔のまち なこそプロジェクト」について

団体概要

「東日本大震災から復興に繋がりたい」という思いから2014年に設立

活動地域：福島県いわき市勿来地区

所属人数：75名（2023年度現在）

活動内容：NPO法人や地域の人々・専門家などの様々な立場の方と協力し、
学びながらイベント開催やボランティアなどの活動を行う

事業への応募理由

- 活動範囲を広げて団体としての福島県に対する関与や貢献を強化するため
- 即時的な活動に留まらない継続的な活動が行える団体へと成長するため

2.田人地区のイメージと実際



活動前に捉えていた地区のイメージ

- 過疎化と活力の低下がかなり進んでいるのではないか
- 中山間地域に位置することから他地域との関わりが少ないのではないか
- 地域への愛着が強い方が他の地域よりも多い

活動をして分かった実際の地区の姿

- 祭りや公民館などでは地域の方々が活発な活動を行っていた
- 自然が豊かでありながら沿岸部からのアクセスは比較的良好であった
- 調査から移住者への積極的な受け入れに前向きな姿勢の方が多く見られた

3.今年度の活動内容

全3回の現地調査・全17回のミーティングを行った



現地調査

- お祭り・行事への参加
- 地域の方や地域振興員の方へのインタビュー調査（町角・行事）
- お祭りや地区内宿泊施設でのアンケート調査



ミーティング

- 地区に対する事前調査と班員への共有
- BS法・KJ法を用いたSWOT分析
- 地域でコーディネートをしていただく方との情報共有 など



4.活動により発見した課題、活かすべきこと

課題

～関係人口の増加を目指して～

- 現状は主要産業がなく働き口がないことにより人口が流出
- 地域の活力を低下を止めるために田人に関わる人を少しでも増やすべき

活かすべきこと

- 沿岸部地域（勿来・植田）の人々との関わり
- 市街地に近いにも関わらず自然に大変恵まれている点
- 高齢の方であっても地域活動に意欲的である点



5. 課題解決のための提案・考察

ファンクラブ制度



目的

- ・とにかく田人の存在を周知する
- ・田人を気にかけてくれるを増やす

内容

- ・会員証の発行
- ・マイレージ／ステータス制度

課題

- ・Web上のシステム構築に金銭的負担アリ

ワーキングスペースの提供



目的

- ・田人を知ってもらい、関わってもらい
- ・田人の自然環境を活かす

内容

- ・空き家の活用／バーチャルオフィス
- ・農業体験などのリアルな地方暮らし体験

課題

- ・通信環境の整備

その他

- ・田人の製品や特産物を購入できるECサイトの設置
- ・農業／工業高校の実習地としての活用

6. 今後に向けて

提案の妥当性の評価

- ・ 我々が考えた提案が田人に住む方の目にどう映るのかを調査
- ・ それぞれの提案が田人のために必要となる提案なのかを評価
- ・ 評価をもとに現在複数ある提案を1つに絞る

提案の修正と実行

現地の方の声を踏まえて提案の修正を行いながら提案を実行に移す

→ 来年度の夏の長期休暇終盤に1回目のテストを行いたい



**地元の人が愛する田人地区を
もっと多くの人から愛される場所にしたい！！**

そんな想いを抱きながら
田人の皆さんの声をもとに
ミライの田人を考えていきたいです！